

新型コロナワクチンについて（乳幼児）

ワクチン接種を受ける前に

- 1 このワクチンは新型コロナ（SARS-CoV-2）による感染症（COVID-19）の予防・重症化を防ぐことを目的としております。
これまでの報告では、オミクロン株 BA.2 に対するワクチンによる発症予防効果は、生後 6 ヶ月～2 歳で 75.8%、2～4 歳では 71.8%とされています。また接種後の中和抗体の上昇は、15～25 歳の群に比し劣勢ではないとされています。
ワクチンは個人と社会を守ります。小児が感染した場合、重症化するリスクは極めて少ないものの、小児の兄弟・両親・祖父母の社会生活にも影響を及ぼします。またオミクロン株流行後の小児死亡例が 41 例あり、基礎疾患をもっている小児が感染しない、させないためにも、乳幼児に新型コロナワクチン接種を行う意義はあると思われれます。
- 2 乳幼児（生後 6 ヶ月以上 4 歳以下）のワクチンはファイザー社製オリジナル株で、分量は成人の 1/10、小児の 3/10 です。接種部位は、生後 6 ヶ月～1 歳未満は外側広筋（太もも中央外側の筋肉）に、3 歳以上は上腕の三角筋（肩より少し下の筋肉）の中央部に接種します。1 歳～2 歳は上記どちらかの筋肉に接種します。

ワクチン接種を受けた後に

- 1 ワクチン接種後 15 分はクリニック内あるいはクリニック近辺に待機して下さい。各自スマホなどでタイマーを 15 分設定し、15 分経過してから帰宅をお願いします。
- 2 ワクチン接種を受けた日は激しい運動や遊びは避けて下さい。入浴・シャワーは行って構いません。
- 3 ワクチン接種後に見られる副反応
治験で観察された有害事象は軽度から中等度です。生後 6 ヶ月～2 歳では、接種部位局所反応は 18～19%、発熱は 14～18%、3～4 歳では、接種部位局所反応は 26～28%、発熱は 10～12%でした。これらは接種 2 日以内に発症しますが、ほとんどが軽症で数日以内に軽快します。
- 4 接種後気になることがありましたら受診して下さい。